

# 2015（平成27）年10-12月期GDP速報（2次速報値）

## ～ ポイント解説 ～

平成28年3月8日

内閣府経済社会総合研究所

国民経済計算部

### [1] GDP成長率

2015（平成27）年10-12月期のGDP成長率（季節調整済前期比）は、2次速報値において、実質▲0.3%（年率▲1.1%）、名目▲0.2%（年率▲0.9%）となった。実質成長率、名目成長率ともに1次速報値から上方改定となった<sup>1</sup>。

### [2] GDPの内外需別の寄与度

実質GDP成長率に対する内外需別の寄与度を見ると、公的固定資本形成や民間最終消費支出が下方改定となったものの、民間在庫品増加や民間企業設備、政府最終消費支出が上方改定となったため、国内需要（内需）の寄与度が▲0.4%と1次速報値（▲0.5%）から上方改定となった。財貨・サービスの純輸出（外需）の寄与度については、0.1%と1次速報値から変わらなかった。

### [3] 需要項目別の動向（季節調整済前期比）

#### （1）民間需要の動向

民間最終消費支出については、「商業動態統計」や「生産動態統計」の12月分の確報値の反映等により、実質▲0.9%と1次速報値（▲0.8%）から下方改定となった。テレビ、家庭用器具<sup>2</sup>等が下方改定に寄与した。

民間住宅については、実質▲1.2%と1次速報値と同じ伸び率となった。

民間企業設備については、実質1.5%増と1次速報値（1.4%増）から上方改定となった。1次速報で仮置き値としていた需要側推計値について、「法人企業統計」（10-12月期）等を反映した結果、上方改定されたことによる。

民間在庫品増加のGDP寄与度については、実質▲0.0%と1次速報値（▲0.1%）から上方改定となった。1次速報で仮置き値としていた仕掛品在庫と原材料在庫について、「法人企業統計」の反映により、ともに上方改定となった。

<sup>1</sup> 1次速報値は実質▲0.4%（年率▲1.4%）、名目▲0.3%（年率▲1.2%）。

<sup>2</sup> これらの品目については、「商業動態統計」の商品手持額の確報化を反映した当該品目の流通在庫の上方改定による国内総供給（出荷＋運輸・商品マージン＋輸入－輸出－流通及び原材料在庫）の下方改定が寄与。

## (2) 公的需要の動向

政府最終消費支出については、各種基礎統計の追加により、実質 0.6%増と 1 次速報値 (0.5%増) から上方改定となった。

公的固定資本形成については、12 月分の「建設総合統計」を反映した結果、実質▲3.4%と 1 次速報値 (▲2.7%) から下方改定となった。

公的在庫品増加の GDP 寄与度は、実質 0.0%と 1 次速報値から変わらなかった。

## (3) 輸出入の動向

財貨・サービスの輸出については、輸出デフレーターの下改定により、実質▲0.8%と 1 次速報値 (▲0.9%) から上方改定となった。財貨・サービスの輸入については、実質▲1.4%と 1 次速報値と同じ伸び率となった。

## [4] デフレーターの動向

GDP デフレーターについては、季節調整済前期比で 0.0%と 1 次速報値 (0.1%上昇) から下方改定となった。前年同期比については、1.5%上昇と 1 次速報値と同じ上昇率となった。

## [5] 2015 年の GDP

2015 年の実質 GDP 成長率は前年比 0.5%と 1 次速報値 (0.4%) から上方改定となった。名目 GDP については、前年比 2.5%と 1 次速報値と同じ伸び率となった。GDP デフレーターについては、2.0%上昇と 1 次速報値と同じ上昇率となった。

## [参考]

### [1] GNI（国民総所得）の動向

2015年10-12月期の実質GNI成長率は、季節調整済前期比で0.2%（年率0.6%）と1次速報値（0.1%、年率0.3%）から上方改定となった。海外からの純所得と交易利得の寄与度は1次速報値から変わらず、実質GNI成長率は実質GDP成長率の上方改定に連動した改定となった<sup>3</sup>。名目GNI成長率についても、名目GDP成長率の上方改定に伴い、季節調整済前期比で0.2%（年率0.6%）と1次速報値（0.1%、年率0.4%）から上方改定となった<sup>4</sup>。

2015年のGNI成長率は、実質は前年比2.5%、名目は前年比3.1%と、1次速報値（実質2.4%、名目3.0%）からそれぞれ上方改定となった。

### [2] 雇用者報酬の動向

2015年10-12月期の雇用者報酬については、「毎月勤労統計」（12月分）の確報化等を反映した結果、前年同期比では名目は1.8%増と1次速報値と同じ伸び率、実質は1.7%増と1次速報値（1.8%増）から下方改定となった<sup>5</sup>。季節調整済前期比については、名目は0.3%増と1次速報値（0.4%増）から下方改定、実質は0.2%増と1次速報値と同じ伸び率となった。

2015年の雇用者報酬については、名目は前年比1.5%増、実質は前年比1.1%増と、ともに1次速報値と同じ伸び率となった。

(以上)

---

<sup>3</sup> 実質GNI = 実質GDP + 海外からの実質純所得 + 交易利得

<sup>4</sup> 名目GNI = 名目GDP + 海外からの純所得

<sup>5</sup> 実質雇用者報酬は名目雇用者報酬を家計最終消費支出（除く持ち家の帰属家賃及びFISIM）デフレーターで除して算出した参考値。